



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (4月6日～15日)

1. 年間インフレ率 (6日付シャルグ紙)

イラン統計センターの報告によると、イランの年間インフレ率は31.5%を記録した。特に、食料品に関しては57%の上昇となり、10年前と現在を比較すると、601.4%の物価上昇となっている。イラン中央銀行総裁は、本年〔ヒジュラ太陽暦1392年(2013年3月21日～2014年3月20日)〕の主要目標として、インフレ率の低下と為替の安定化を挙げている。

2. 自動車の輸入関税の引き下げ (6日付ジョムフーリーイエ・エスラーミー紙)

サーフデル鉱工業・商業省次官は、市場での競争を促すため、自動車の輸入関税を40%にまで低下させると述べた。

3. 新たな輸出入規程 (7日付ケイハーン紙)

ケルマーンシャー貿易推進機構次官は、新たな輸出入規程を今週末にイラン税関に提出すると述べた。同規定には、現在輸入が(一時的に)禁止されている2,500cc超の自動車の関税も定められており、2,500cc未満の輸入自動車には40%の関税、2,500cc超の自動車には75%の関税を課すとされている。

4. 最低賃金に関する抗議文書 (8日付シャルグ紙)

バンドレ・エマーム石油化学会社およびマーフシャフル石油化学会社の一時雇用者らは、本年〔ヒジュラ太陽暦1392年(2013年3月21日～2014年3月20日)〕の最低賃金に関し、不服を申し立てる抗議文書を作成した。

5. 昨年の失業率 (15日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)

イラン統計センターによると、ヒジュラ太陽暦1391年(2012年3月20日～2013年3月20日)には、全国で294万人が失業した。15～24歳の失業率は26.9%であり、15～29歳では24.5%となった。各州の失業率は、最低の北ホラーサーン州で6.4%、最高のロレスタン州で20.2%であった。

6. 牛肉・鶏肉・鶏卵の値上がり (15日付ハムシャフフリー紙)

4月13日から、牛肉の価格は25%値上がりし、1キロ当たり31万～32万リヤールとなっている。同時に、鶏肉および鶏卵の価格も上昇した。鶏肉は1万リヤール上昇し、1キロ当たり5万7,000リヤール、鶏卵は4,000リヤール上昇し、30個で7万4,000～8万2,000リヤールとなった。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799